恵那山　黒井沢

L 山本、平本、山口（記録）
2009年6月7日（日）

　前夜、山本さんを相模原でピックアップして中央道で八王子 IC から中津川 IC へ。通常なら６１００円だが ETC 割引で１０００円（！）の恩恵を受けることができた。土曜は雨だったらしいが今夜は月夜である。思いのほか順調に来ることができたので黒井沢登山口まで一気に行って駐車場でテントを張る。軽く１杯飲んでから眠る。５時に起床、平本さんは仕事の関係で現地にて集合する。

　６時、黒井沢登山道を出発、林道を歩き始める。４０分ほどで黒井沢の入渓点に着く。林道からは堰堤が見える。入渓して早速、堰堤を巻くこととなる。

　自分にとっては今シーズン初の沢、足慣らしのつもりなので無難な沢を期待したい。リーダーの山本さんのご好意で先頭を歩かせてもらうこととなった。
そして、歩くとすぐに６mほどの滝が現れる。

【６mの滝】

「これは幸先が良いな」と思いながら向かって左側を登る。するとまたすぐに堰堤が現れる。そのあとはゴーロが続くが天気も良く、緑に囲まれた沢は気持ちが良い。しばらく行くと滑り台状の３mほどの滝となる。これはツルツルで手がかりがなさそうだし、濡れるのもためらわれるので左側を小さく巻くことにした。

　そのあとは河原と２～３mの小さな滝がいくつか現れる。物足りないと言えば、物足りないが、まあこんなもんだろう。

　そんなこんなで歩いていくと、だんだんと流れが細くなって、傾斜もきつく、ガレてくる。すると最後のハイライトと言うべきか、ガレとも涸れ滝とも言える岩が現れる。

【最後のガレ】

いったんこの下で休憩、水を補給してからガレを登りきるとヤブに突入、最後は程良いヤブ漕ぎで登山道に出る。３０分ほど歩くと恵那山の山頂小屋に着く。到着時間は１１時過ぎ、集中は１３時だから「これは一番乗りか！？」と期待したが斉藤パーティに先を越されていた、残念。

　しかし余裕を持って集中できたので満足である。山本さん、平本さんお疲れさまでした。

地形図　美濃焼山（飯田）
　　中津川（飯田）